

## 光学医療診療部

### ■ スタッフ

部長	中川 勇人
副部長	濱田 康彦
医師 常勤	4名
看護師（うち内視鏡技師）常勤	4名（2名）
	非常勤
	4名
臨床工学技士	3名
事務	1名
その他 洗浄員	2名

### ■ 特色・診療対象疾患

当診療科は、日本および世界で最先端の消化器内視鏡診断と治療を行っており、その実績は、国際的に評価される英文誌に掲載されています。特に当診療科の早期の食道癌・胃癌・十二指腸癌・大腸癌に対する内視鏡診断と治療は高い評価を受けており、大きな腫瘍でも最新の機器による高度な精査を行い、外科手術することなく内視鏡的切除によって治療を行っています。また、カプセル内視鏡やダブルバルーン内視鏡による全小腸の診断や治療も積極的に行っています。さらに、肝胆膵疾患に対する内視鏡診断と治療についても、経口電子胆管鏡や超音波内視鏡下処置（Interventional EUS）など高度な診療を行っています。全ての消化器・呼吸器疾患領域において最先端の内視鏡診療を快適に受けることができます。

#### 1. 当科の特色

- 消化管・肝胆膵・呼吸器全ての領域での精密な内視鏡診療が可能。
- 高度な技術により、治療困難症例に対しても安全に治療を行っています。
- 臨床研究により、新たな診断・治療の技術開発を行っています。

#### 2. 主な診療対象疾患

- 消化管疾患（咽喉頭・食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肛門）
- 肝胆膵疾患（肝臓・胆道・胆嚢・膵臓）
- 呼吸器疾患（気管・気管支・肺・胸膜）

### ■ 活動実績

当診療部は、以下の内視鏡診療を行っています。

- 拡大内視鏡検査、画像強調技術（NBI/BLI・TXI/LCI など）を用いた精緻な内視鏡診断
- 人工知能を用いた消化管癌の内視鏡診断
- 早期消化管癌の内視鏡治療（EMR・ESD など）
- カプセル内視鏡やバルーン小腸内視鏡による小腸疾患の診断・治療
- 他科との内視鏡合同手術（LECS・ELPS など）
- 胆膵疾患の先進内視鏡的診断・治療（ERCP・EST・EUS-FNA・EUS ガイド下治療）
- 気管支鏡（含、EBUS、AFI）

#### 1. 診療実績

期間：2023年4月～2024年3月

		期間合計
上部	検査	3484
	治療(計)	366
	ESD	108
	EMR	38
下部	検査	1047
	治療(計)	311
	ESD	40
	EMR	271
胆膵	EUS/FNA	580
	ERCP	559
小腸バルーン		39
カプセル内視鏡		59
気管支鏡		168
術中		66
EIS・EVL		91

#### 2. 教育活動の実績

初期研修医および後期研修医の内視鏡診療教育を担い、専門医や指導医を育成しています。

- 日本消化器内視鏡学会指導施設。
- 日本カプセル内視鏡学会指導施設。
- 日本呼吸器内視鏡学会指導施設。

### 3. 臨床研究等の実績

---

- 画像強調法を併用した拡大内視鏡による消化管腫瘍の診断と治療。
- DX 技術を用いた内視鏡検査の遠隔支援。
- 胆膵腫瘍の早期診断と治療（特に膵癌）
- ERCP 後急性膵炎予防のための輸液負荷に関する多施設共同前向き比較試験。
- 悪性胆道狭窄に対する 6mm VS 10mm ステントの前向き多施設共同前向き比較試験。

#### ■ 今後の展望

内視鏡業務を円滑に行い、患者様に満足頂ける内視鏡診療を行っていくことが重要であると考えています。

さらに、基本的技術のみならず、内視鏡分野の世界的な発展を視野に、診療・教育・研究に取り組んでいく予定です。

---

[https://www.hosp.mie-u.ac.jp/bumon/kougaku\\_iryo/](https://www.hosp.mie-u.ac.jp/bumon/kougaku_iryo/)